

## ぬちどう宝

石垣市立八島小学校三年 金城 幸羽

「ぬちどう宝」

いのちが一番大切だよという意味  
先生が

げっとうのはなをみながら話してくれた  
おきなわでも  
むかし、せんそうがあったんだよ  
たいへんなせんそうだった

わたしは、ちずをみた  
いま、せかいでは、  
いろいろなくてせんそうをしている  
ドカーン  
ドドーン  
という、ばくだんの音  
たくさんのたてもものが  
こわれていく

そんなせんそうが  
おきなわでもあったなんて  
しんじられない

このことは  
わたしには  
かんけないことだとおもっていた  
すると、いえで  
おばあちゃんがいった  
蚊のなくような声で  
つぶやくように

「おじいちゃんもせんそうにやられたよ」  
わたしはびっくりした  
おばあちゃんはないていた  
なきながら  
心の中からこえを  
ふりしぼった  
せんそうは、なにかもうばう  
たいせつなひと

たいせつなじか人も  
なにかも

わたしは、あのおそろしいせんそう  
で、いのちを落とした人が  
じぶんのかぞくにいたなんて  
びっくりした

まぶにのアンマーという本を読んだ  
まぶにのあんまーは  
大切な子どもをなくした、  
自分の子どもの大切なほねを  
子どもによく歌っていた歌を  
歌いながらさがした  
子どもをなくしたおかあさんのきもち  
こどもがいとおいしいというきもち  
せつないきもちがったわってきた

ぬちどう宝  
いのちさえあれば、なにもいらぬ  
ほんとうにそうだ  
これから、あのおそろしいせんそうが  
にどとおきないように  
へいわをまもっていききたい  
そのため  
だれとでもなかよくしたい。  
せんそうは人の心の中で生まれる物だから  
いつも、  
すきとおったきもちでいたい

せんそうのないへいわなおきなわが  
ずっとつづくように  
人とのつながりを大切にしていききたい  
ずっとへいわであるように  
いのりつづきたい